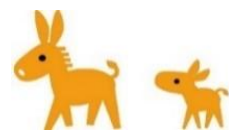


おれんじだより



認知症の人、その家族、そしてみんなが安心して暮らせる街になるように、豊田市内の地域包括支援センターなどで行っている認知症に関する取組やイベントを毎月お届けします。

認知症って？

認知症とは、脳の病気などいろいろな原因で脳の神経細胞の働きが変化したために、**認知機能（情報を分析したり、記憶したり、思い出したりする機能）が低下し、普段の生活に支障をきたす症状**です。症状の出方は、人によって様々です。

認知機能の障がいとしては、

記憶障がい（同じことを何度も言ったり、物がなくなったりする）

言語障がい（人や物の名前が出てこない）

視覚認知障がい（知っているはずの場所で迷う）

実行機能障がい（物事を計画立ててできない）

社会的認知障がい（他人に共感したり同情できない）などがあります。

「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違いとは？

加齢によるもの忘れ

認知症によるもの忘れ



加齢によるもの忘れ	項目	認知症によるもの忘れ
ある	もの忘れの自覚	ない
一部を忘れる	体験したこと	全体を忘れる
支障はない	日常生活	支障がある
低下しない	判断力	低下する

参照 社会保険研究所「認知症かな？と思ったら」



足助地域包括支援センター（足助中学校区）

認知症サポーター養成講座を行いました



令和8年4月2日にJA愛知厚生連足助病院の新入職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。認知症当事者の声に耳を傾けてもらい、新しい認知症観をふまえて気づいたことや学んだことをグループ内で話し合い、共有しました。

周りの人の支援があれば、住み慣れた場所で生活を続けられると気づいた



グループワークの様子

認知症になって何もかもできなくなる訳ではないことが分かった



サポーターとなった参加者全員で記念撮影

問合せ：足助地域包括支援センター（足助病院内） ☎62-0683

ふじのさと包括支援センター（藤岡中学校区）

地域で活躍するAさんについてご紹介します♪



藤岡中学校区在住
70代 Aさん



Aさんは毎朝、地域の小学生の登校を見守るボランティア活動をしています。交通量の多い通学路で、子どもたちが安全に登校できるよう、集合場所から学校まで一緒に歩き、見守りを行っています。

Aさんは認知症の診断後、以前に比べ意欲が低下していましたが、支援者が関わりを続ける中で「人の役に立つことをしたい」という希望を話してくださいました。現在では「子どもたちの安全のために」と語り、使命感をもち、地域の大切な役割を担っています。

地域包括支援センターは、認知症の人が地域で役割をもって活動したり、居場所に参加したりすることができるよう、社会参加支援を行っています。今後もひとりひとりにあった社会参加支援を行うため、地域資源の把握や情報発信、多機関連携に努めていきます。

問合せ：ふじのさと包括支援センター ☎76-5294

早期相談
早期対応

認知症について気になる事があれば
早めに相談しましょう。



高齢者の相談窓口
地域包括支援センター一覧 →



認知症チェックリスト →

